

公務員のシゴト & 試験制度を知ろう！

ゼロから教えて！公務員！

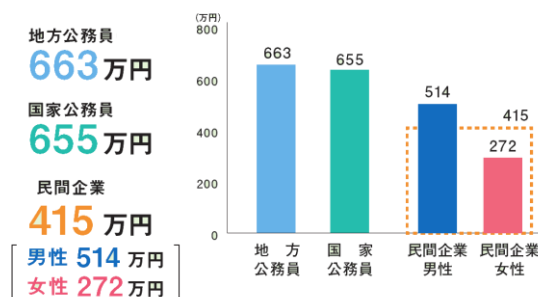
CONTENTS 1.公務員の職種と仕事内容 2.公務員の試験制度 3.TACの合格カリキュラム など

1 公務員の職種と仕事内容

□公務員の魅力（vs 民間企業）

- ① 人と社会のために働ける一生の仕事
- ② 安定した環境で仕事ができる
- ③ 仕事もプライベートも大切にできる（ワークライフバランス）
- ④ 女性も働きやすい職場環境＆女性の採用・登用拡大中！
- ⑤ 意外と！？高水準で安定した収入がある >>>

平均年収比較（平成26年度）



□公務員の種類

国家公務員

☺ スペシャリストとして活躍

1府12省庁・税務署・ハローワーク・裁判所・国会などに勤務し、各機関が管轄する分野のスペシャリストとして活躍します。

☺ 仕事のスケールが大きい

日本全体を視野にとらえ、日本全体を動かす、日本全体に影響を与えるような国家単位の仕事に携わることができる点は、国家公務員ならではの魅力です。

地方公務員

☺ ゼネラリストとして活躍

県庁・市役所・区役所などに勤務し、2～3年の周期でさまざまな部局を異動しながら、ゼネラリストとして幅広い分野の業務に携わります。

☺ 地域密着型の仕事ができる

各自治体が抱える課題は、自治体によりさまざまです。地方公務員は、地域に密着した存在として、時には住民と協働しながらまちづくりや行政サービスを実現します。

□国家公務員

㊦ 裁判所職員 [試験名：裁判所一般職（裁判所事務官・大卒）]

㊦ 裁判事務のプロフェッショナル

【仕事内容】 裁判所のスムーズな運用を図るための**事務や裁判手続の補助業務**を担当
裁判所の円滑な運用を支える**コートマネージャー**として活躍

【勤務先】 受験した高等裁判所管轄内の裁判所の**裁判部門or司法行政部門**へ配属
まずは**裁判所事務官**として**裁判部門に配属**されることが多い
裁判部門：法廷事務や裁判手続の補助作業を担当
司法行政部門：総務・会計・人事などの一般事務を担当

【特徴】 内部試験により、『**裁判所書記官**』への**ステップアップの道**が開かれている
書記官は**裁判立会・調書作成・公判スケジュール管理**等、より深く裁判に携わる



㊦ 衆議院事務局／参議院事務局 [試験名：衆議院事務局一般職（大卒）／参議院事務局総合職]

㊦ 各議会の活動を支えるシンクタンク

【仕事内容】 会議運営部門・調査部門・総務部門で、**各議会の運営サポート**を担当
国権の最高機関で**議会制民主主義を陰で支える**重要かつ緊張を要する仕事

【勤務先】 原則として、**国会議事堂or周辺施設**での勤務 ＝ 転勤を伴う異動はない

【特徴】 **例年採用人数が多くない**ことから倍率が上がりがちなので**併願受験**をする！
衆議院と参議院はそれぞれ別の機関であり、別々に採用試験を実施している



㊦ 国税専門官 [試験名：国税専門官]

㊦ 日本の税制を支える税務のスペシャリスト

【仕事内容】 税務署や国税局に勤務し、法律・経済・会計に関する知識を駆使して、**申告納税制度を支える専門職**

国税調査官：適正な申告が行われているかの調査・検査・指導 など

国税徴収官：税金の督促や滞納処分、納税に関する指導 など

国税査察官：悪質な脱税者に対する強制捜査・捜索・差押え・告発 など

【勤務先】 採用後は**税務大学校での研修**を通じて、税金や会計に関する基礎知識を修得
研修終了後に**税務署や国税局**に配属される

【特徴】 **研修制度が充実**しており、専門知識や技能を身につけながら仕事ができる
勤続年数に応じ、国家資格である**税理士の科目合格や税理士資格**が得られる



⑩労働基準監督官 [試験名：労働基準監督官A]

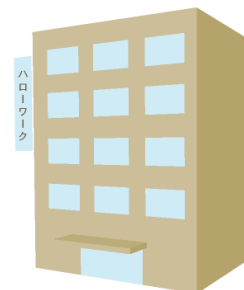
民間企業の労働者を護る労働Gメン

【仕事内容】 労働関係法令に基づき、**労働条件・安全／衛生の確保・改善を促進する専門職**

臨検監督：労働条件や健康管理状況等について調査・指導

災害調査：労働災害発生状況や原因について調査 & 再発防止指導

司法処分：労働関係法令違反に対し、特別司法警察員として捜査・送検



【勤務先】 **厚生労働省**の専門職として、**都道府県労働局**や**労働基準監督署**に配属される
異動は2～3年ごとに全国規模 (7年経つと希望を聞いてくれるとかくれないとか…)

【特徴】 他の職種に比べて庁外業務が多く、人生経験を積んだ人と接する機会が多い

⑪1府12省庁職員 [試験名：国家一般職（大卒）／国家総合職]

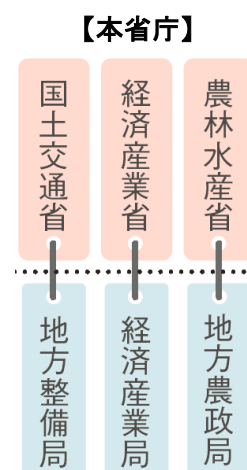
各府省庁で政策立案・実行を支える

【仕事内容】 **企画立案** 本省庁採用（霞が関勤務） 例：〇〇省
各府省に採用され、**特定分野の専門的業務**に従事する
国の中枢である**霞ヶ関**で主に**政策の企画立案**を担う

実行 地方出先機関採用（地方勤務） 例：〇〇省 関東□□□局
勤務地域はある程度限定されており、**管区内の本局や事務局**に勤務
主に**実行役**を担い、機関によっては窓口業務がある

【勤務先】 省庁をまたいだ異動はない = **官庁訪問時の選択が自分の職場を決める**

【特徴】 1次試験合格発表後に実施される『**官庁訪問**』を経て**機関ごとに内定**が出る
試験実施主体は人事院だが**採用・内定は省庁ごと**＝“無い内定”がありえる



【地方出先機関】



参考：三権分立

日本国憲法は、国会（立法）、内閣（行政）、裁判所（司法）の3つの独立した機関が、相互に抑制し合い、バランスを保つことにより、権力の濫用を防ぎ、国民の権利と自由を保障する『三権分立』の原則を定めています。

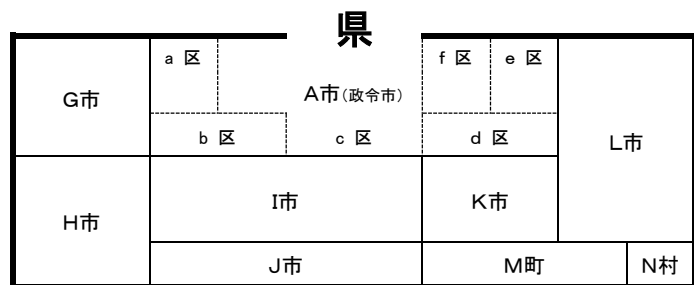
国家公務員になるということは、“司法府・立法府・行政府の職員になり、各機関が管轄する分野の専門家として働く”ということになります。

□地方公務員

基礎的自治体と広域的自治体

日本の地方自治制度は、“市町村と都道府県による**2階層制**”を採用しています。地方自治法は、その行政規模や目的によって分けると、以下の2つに区分できます。

- 市町村 = **基礎的自治体**
- 都道府県 = **広域的自治体**



㊦市町村 [試験名：〇〇市上級／〇〇市（大卒程度）など]

㊦基礎的行政サービスを担う

【仕事内容】 **地域住民の行政窓口**として、住民生活の基礎手続（*1）、住民の安全・健康確保・環境保全（*2）、まちづくり（*3）、各種施設の運営（*4）などを担う

- *1 戸籍住民登録、住居表示、諸証明の発行 など
- *2 消防、ごみ処理、上下水道の整備、公園・緑地の整備 など
- *3 都市計画、道路・河川・その他の公共施設の建設及び管理 など
- *4 公民館・保育所・小中学校・図書館等の建設及び管理 など



【勤務先】 市役所や市町村の関連施設（出先機関）に勤務 = **転居が伴う異動はない**



【特徴】 市役所の窓口業務などで、**地域住民と直に接する機会が多く**、都道府県や国家公務員よりも自分が携わった**仕事の成果が実感しやすい**

㊧都道府県 [試験名：□□県上級／□□県Ⅰ種／□□県【大卒程度】など]

㊧広域的行政サービスを担う

【仕事内容】 市区町村の**区域を越える業務**（*1）、都道府県全体で**統一すべき業務**（*2）、国と市町村間や業者との調整など、比較的スケールの大きな仕事を担う

- *1 総合開発計画、治山治水事業、産業立地条件の整備、道路・河川・公共施設の管理 など
- *2 義務教育・社会福祉の水準維持、各種認可・許可・検査 など



【勤務先】 **都道府県庁や都道府県の関連施設（出先機関）**に勤務

【特徴】 住民と直に接する機会は少ないが市町村より**仕事のスケールや権限が“大”**

地方公務員の魅力

☺ 幅広い分野の業務に携われる

各自治体の総合職として採用される地方公務員は、**2～3年で部局を異動**ながら**幅広い分野の業務**に携われます。

☺ 地域の特性を活かした政策を実行できる

各自治体が抱える課題は、地域により異なります。地方公務員は、**地域の特性を活かした政策を考え実行**できます。



⑤ 政令指定都市 [試験名：○△市上級／○○市（大卒程度）など]

△基礎的自治体（市町村）と広域的自治体（都道府県）の機能を併せ持つ大都市

【仕事内容】 **都道府県と同格の扱い**を受ける、法律上50万人以上の大規模都市
本来の**基礎的行政サービス**に加え、道府県に代わり**福祉や都市計画**も担う

【勤務先】 **市役所・区役所**（*）や**市の関連施設（出先機関）**に勤務
自治体により異なるが、現場（窓口）からスタートする場合が多い
*政令指定都市には、行政事務処理の便宜上、区が設けられている（行政区）

【特徴】 基礎的／広域的行政サービスの**両方に携われる** ＝ 仕事の幅広さが魅力
市町村に比べて**採用人数が多く、毎年採用試験が実施される**ため人気が高い
採用試験は県と同日実施 ＝ **県と政令指定都市の併願受験は不可**

政令指定都市	
札幌市	名古屋市
仙台市	京都市
さいたま市	大阪市
千葉市	堺市
横浜市	神戸市
川崎市	岡山市
相模原市	広島市
新潟市	北九州市
静岡市	福岡市
浜松市	熊本市

⑥ 東京特別区 [試験名：特別区Ⅰ類]

△東京23区の職員

【仕事内容】 **東京23区**をまとめて『東京特別区』と呼び、**基礎的自治体の役割**を担う
東京都が処理する上下水道・消防等を除き、**区ごとに市町村事務**を担当

【勤務先】 採用試験は**23区合同で統一試験を人事委員会が実施**するが、**採用は区ごと**
採用された**区の機関で働く**ことになり、市町村同様に転居を伴う異動はない
出願時に、**希望区を第3志望まで記入**することが可能（江戸川区は単願のみ）

【特徴】 区ごとの**独自の政策が実効**できる点や、**地域住民との協働**が魅力
地方公務員採用試験の中で**採用予定数・受験人数・最終合格者数、すべてにお**
いて例年No. 1の試験（受験申込者は例年1万人を超え、合格者は1千人以上）

東京23区	
千代田区	渋谷区
中央区	中野区
港区	杉並区
新宿区	豊島区
文京区	北区
台東区	荒川区
墨田区	板橋区
江東区	練馬区
品川区	足立区
目黒区	葛飾区
大田区	江戸川区
世田谷区	

□志望先の決め方

これからじっくりと考えればOK！

自治体や各機関のHPで情報収集する

各自治体や官公庁のHPには、必ず“職員採用情報ページ”が設けられており、**説明会情報・現役職員インタビュー・試験情報**などが随時掲載されます。志望先・併願先はもちろん気になる自治体や官公庁のHPはブックマークしておき、**こまめにチェック**しておくことをおすすめします。

自治体職員については	〇〇市 職員採用	で検索
国家公務員（一般職・専門職）は	国家公務員採用情報 NAVI	で検索
裁判所職員については	裁判所 職員採用	で検索

など



説明会などの採用関連イベントに参加する

HPによる情報収集に加えておすすめなのが、現役職員の生の声や雰囲気を感じられる**説明会などの採用関連イベントへの積極的な参加**です。これらに参加することで、最新情報が手に入ることはもちろん、**現役職員に直接質問できたり職場を見学することができる**など、良いことばかりです。

各種説明会	: 例年11月頃から春先にかけて随時実施
インターンシップ	: 5～6月に募集&夏休みや春休みに実施..etc



参考：TAC校舎に現職公務員が来る！『官公庁・自治体講演会』

国家公務員	国税局（国税専門官） 財務局（財務専門官） 高等裁判所・地方裁判所（裁判所事務官） 労働局（労働基準監督官） 衆議院 参議院 防衛省 外務省（外務専門職） 各府省庁 など
地方公務員	特別区（新宿区・中野区・世田谷区・渋谷区・港区・北区・台東区・荒川区 など） 東京都 埼玉県 千葉県 神奈川県 さいたま市 千葉市 横浜市 川崎市 相模原市 町田市 など
法人	国立大学法人等

➡主だった自治体・官公庁の説明会情報をTAC公務員講座Twitterで配信中！
Please follow Me！



Column 志望先の選択

Q. 志望先が決まっていなのに学習開始って“あり”ですか？

大丈夫！実際、学習開始時点で志望先がしっかりと定まっている受講生は、ほとんどいません。「本当に？」と思うかもしれませんが、これが現実です。民間就活予定の友人を見てみてください。「私、〇△（会社名）を志望する！」と既に豪語している人は多くないでしょう。公務員受験生も同じなのです。

学習開始前に決めてほしいことは、「公務員になる！」or「公務員を就職先の1つとして考えよう」という意思だけです。具体的な志望先は、これから情報収集をしたり説明会に参加したりするなど、いわゆる就活をしながら、徐々に定めて行ってくれば大丈夫です。

公務員になる！



Q. 志望先が決まっていなくても、効率的に学習できますか？

出来ます！TACの総合本科生のカリキュラムは、その名のとおり、総合的に各種公務員試験を併願受験できるように組まれています。また、定期的の実施するホームルーム（HR）で、試験種ごとの最新情報や傾向をお伝えするとともに、効率的な学習法をご紹介しますので、それにしたがって勉強してくれば、大丈夫です。

効率的な学習法については、長年公務員受験指導をしてきた経験豊富な担任講師が最新情報や過去の合格者の実例を用いながら、随時お伝えします。また、担任だけでなく合格者もカウンセリングや座談会を通じてサポートしますので、独りで悩みを抱え込まず、どんどん相談してください。



Point

- 志望先が決まっていなからといって、学習開始が遅くなる方がデメリット大！
- TACの教室講座は毎月開講！思い立ったその日が吉日、いつでも学習開始OKです！
- いつ学習を開始してもやるべき量は同じ ＝ 出来る限り早めに受験対策を始めるのがおすすめ！

Q. 志望先はいつまでに決めれば良いですか？

合格者の多くは、受験前年の年末～年明けくらいを目安に第一志望と併願先を決めています。例年11月頃になると、各自治体・官公庁主催の説明会などの採用関連イベントの実施日程が発表になります。それらに参加しながら、徐々に志望先を絞り込んでいくイメージです。

TACでは、3～4月にかけて実施する公開模試で受験する試験種を登録する手続きがありますので、そこを目安にしている方が多いです。採用関連イベントは、TAC校舎でも順次実施していきますので、ぜひ積極的に参加しておくことをおすすめします。



2 公務員の試験制度

□受験資格 ～有利不利のない公平な就職試験～

公務員試験の行政事務職の受験資格は、概ね**年齢と国籍要件のみ**です（一部試験では学歴要件あり）。出願すれば誰でも受験することができ、**学歴・職歴・性別・年齢などによる有利不利はありません**。これからの頑張り次第です。

つまり、筆記試験と人物試験の総合評価で合否が決定される、**公平公正な就職試験**と言えます。

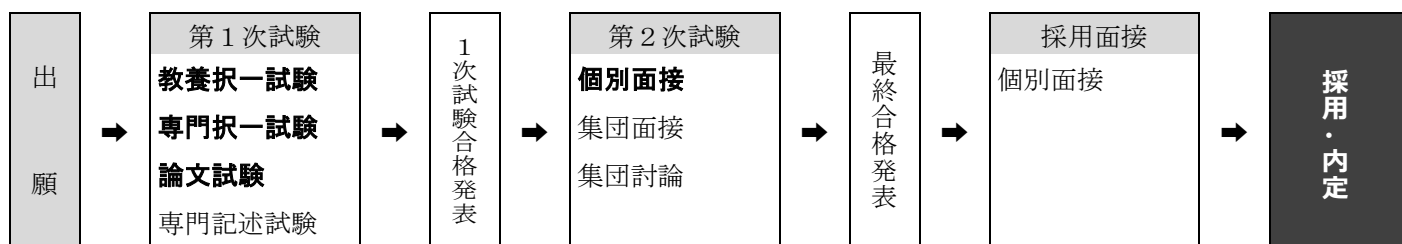
受験資格例
参考：平成27年度 特別区Ⅰ類（事務） 日本国籍を有する人で、次の年齢要件に該当する人 ★昭和63年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた人

参考：主な公務員試験の受験可能な年齢上限（平成27年度）

上限年齢	国家公務員	地方公務員	
		都道府県	政令指定都市・市町村等
59			秦野市 など
		⋮	
39		山形県	
36		徳島県	
35		宮城県・福島県・千葉県・山梨県・長野県・富山県・和歌山県・鳥取県・熊本県	相模原市・福井市 など
34		秋田県・福井県・滋賀県・大阪府【行政26-34】・愛媛県	柏市・山形市・大阪市【行政26-34】 など
33			福山市・松山市 など
32		岩手県・栃木県・島根県	高松市 など
31		東京都Ⅰ類A	
30	国家総合職・国家一般職(大卒)・ 国税専門官・財務専門官・ 労働基準監督官・外務専門職・ 裁判所一般職(大卒)・ 衆議院事務局一般職(大卒)・ 国立大学法人等	北海道・埼玉県・神奈川県・新潟県・ 兵庫県・岡山県	横浜市・静岡市・名古屋市・岡山市・ 北九州市・旭川市・福島市・川崎市・船橋市・ 富山市・豊橋市・豊中市・高槻市・和歌山市・ など
29		青森県・茨城県・群馬県・東京都Ⅰ類B・ 石川県・愛知県・岐阜県・三重県・奈良県・ 広島県・山口県・香川県・高知県・福岡県・ 佐賀県・長崎県・大分県・宮崎県・ 鹿児島県・沖縄県	札幌市・仙台市・川崎市・広島市・福岡市・ 熊本市・函館市・青森市・秋田市・宇都宮市・ 前橋市・高崎市・郡山市・横須賀市・金沢市・ 松本市・長野市・岐阜市・鳥取市・倉敷市・ 呉市・高知市・久留米市・鹿児島市 など
28		静岡県	千葉市・新潟市・浜松市・堺市・市川市・ 大津市・西宮市・下関市 など
27	参議院事務局総合職		特別区Ⅰ類(東京23区)・さいたま市・神戸市・ 盛岡市・岡崎市・豊田市・奈良市・大分市など
26		京都府	京都市・長崎市・宮崎市 など
25		大阪府【行政22-25】	大阪市【行政22-25】 など

※上表は、TACが独自に調査した行政事務職における受験可能年齢の上限をまとめたものです(平成27年6月現在)。
各試験の年齢要件は、年度により変更になる場合がありますので、受験の際は必ず最新の試験案内などをご確認ください。
※平成28年の特別区Ⅰ類は、【現行】年齢22歳以上28歳未満の人 → 【改正後】年齢22歳以上32歳未満の人に変更されます(年齢は、試験・選考がある年の翌年4月1日を基準として算出)。

□一般的な公務員試験の流れ



□第1次試験日程 ～併願受験を考える～

平成27年度		
5月	16日(土)	衆議院事務局一般職(大卒)
	24日(日)	国家総合職
	30日(土)	参議院事務局総合職
	31日(日)	裁判所一般職(大卒) 東京都I類A
6月	7日(日)	特別区I類(東京23区) 東京都I類B 国税専門官 財務専門官 労働基準監督官 ^{など}
	14日(日)	国家一般職(大卒)
	28日(日)	地方上級(県・政令指定都市) 市役所A日程
7月	26日(日)	市役所B日程
8月	23日(日)	国立大学法人等
9月	20日(日)	市役所C日程
10月	25日(日)	神奈川県(秋季チャレンジ)

平成28年度		
5月	14日(土)	衆議院事務局一般職 ^(大卒)
	22日(日)	国家総合職
	28日(土)	参議院事務局総合職
	29日(日)	国税専門官 財務専門官 労働基準監督官 ^{など} 東京都I類A 大阪府 大阪市
6月	5日(日)	特別区I類(東京23区) 東京都I類B 裁判所一般職 ^(大卒)
	12日(日)	国家一般職 ^(大卒)
	26日(日)	地方上級 ^(県・政令指定都市) 市役所A日程 [㊦]
7月	24日(日)	市役所B日程 [㊦]
8月	21日(日)	国立大学法人等
9月	18日(日)	市役所C日程 [㊦]

※上記は、平成28年3月1日現在の情報です。

□第1次試験の試験科目 ～教養択一・専門択一・論文が柱になる～

試験種	国家公務員			地方公務員					法人
	国家一般職 (大卒)	国税専門官 財務専門官 労働基準監督官A	裁判所一般職 (大卒)	東京都 I類B (一般方式)	特別区 I類 (東京23区)	地方上級 (県・政令市)	市役所 教養+専門型	市役所 教養型	国立大学 法人等
教養択一	●	●	●	●	●	●	●	●	●
専門択一	●	●	●	—	●	●	●	—	—
論文	●	—	●	●	●	●	●	●	—
専門記述	—	●	●	●	—	一部あり	—	—	—
面接	●	●	●	●	●	●	●	●	●
集団討論	官庁訪問	—	—	—	—	●	一部あり	一部あり	一部あり

Point

- 教養択一・専門択一・論文対策をしておくことで、幅広く併願受験(3～5つ程度が一般的)できる。
- 学習時間の確保が難しい場合は、市役所(教養型)や国立大学法人をメインターゲットに。
→ただし、市役所(教養型)は採用人数が少ない傾向 = 狭き門(高倍率)であることに要注意!

□正しい学習法で攻略しよう! ～がむしゃらに頑張るだけでは合格できない～

- ㊦科目が非常に多い
- ㊦科目の傾向が様々
- ㊦過去問が繰り返し出る

- 【○】重要度に応じてメリハリをつける
- 【○】科目ごとの正しい学習法で学習する
- 【○】過去問を確実に解けるようになる

- 【×】全科目を全力で学習する
- 【×】どの科目も同じやり方で学習する
- 【×】各科目の専門家を目指す

□教養択一（基礎能力）試験の科目別出題数一覧

試験種	一般知能分野							一般知識分野															合計 出題数 (問)	合計 解答数 (問)	解答時間 (分)		
	数の処理			文章理解				人文科学					自然科学					社会科学								時 事 語	国 語
	数の 推理	判断 推理	空間 把握	資料 解釈	現代 文	英 文	古 文	世 界 史	日 本 史	地 理	思 想	文芸・ 文化	数 学	物 理	化 学	生 物	地 学	法 律	政 治	経 済	社 会						
国家一般職	6	6	1	3	6	5	—	1	1	1	1	—	—	1	1	1	—	1	1	1	—	3	—	40	40	140	
国税・財務・労基 裁判所一般職	3	8	2	3	6	5	—	1	1	1	1	—	—	1	1	—	1	2	1	—	—	3	—	40	40	140	
特別区Ⅰ類	8	6	2	1	5	5	—	1	1	1	1	—	—	1	1	1	1	1	2	2	—	—	—	40	40	180	
東京都Ⅰ類B	5	4	3	4	5	3	—	1	1	1	1	—	—	2	2	2	2	2	1	—	1	4	—	44	40	120	
地方上級全国型	6	2	4	4	4	4	—	1	—	1	—	1	—	1	1	1	1	1	1	1	—	6	—	40	40	130	
地方上級関東型	6	5	4	1	3	5	1	2	2	2	1	—	1	1	2	2	1	3	1	3	4	—	—	50	50	150	
地方上級中北型	6	3	2	1	3	5	1	3	3	2	1	—	1	1	2	2	1	3	2	3	5	—	—	50	40	120	
横浜市	6	5	4	1	3	5	1	3	2	2	1	—	1	1	2	2	1	3	1	3	3	—	—	50	50	150	
国立大学法人等	6	4	3	2	5	5	—	1	2	1	—	—	1	—	1	1	1	6	8	7	6	—	—	60	60	170	
	4	4	4	1	3	3	1	2	2	2	—	1	1	1	1	2	1	2	1	2	2	—	—	40	40	120	

※ゴシックの数字は必須解答です。 ※上記は、過去の試験情報を元に作成しています。

※ 特別区Ⅰ類は平成28年より、一般知能分野の出題数が4題像となり28題必須解答に、一般知識分野の解答数が4題減となり20題中12題選択解答となります。なお、必須解答と選択解答をあわせた必要な解答数は全40題で変更はありません。
※ 横浜市は、試験案内の表記では教養試験のみとなっていますが、実際には地方上級専門試験の問題が出題されています。

Point

- 一般知能分野は、どの試験においても必須解答＆出題数が多い ⇒ 教養試験の可否を分ける重要科目。
- 一般知識分野は、1科目あたりの科目数が少なく、試験によっては選択解答 ⇒ 効率的な学習が必要。
- 教養試験のボーダーラインは、概ね6割程度 = 満点は必要ない！

教養択一試験の攻略法

- 【一般知能分野】
- ✎ 数的処理・文章理解は、**解法テクニック**を習得して、**繰り返しの問題演習**を積むべき演習科目。
 - ✎ 問題を見たら、どの**公式・解法パターン**を使うかが**すぐに思いつく**ようになることが目標。
 - ✎ 解法テクニックを学び解けるようになったら、**問題を解くスピード**も意識する。
- 【一般知識分野】
- ✎ 出題される問題レベルは概ね大学入試センター試験レベルで、典型的な**暗記科目**。
 - ✎ 1科目あたりの**出題数は少ない**ため、**頻出テーマに絞った効率的な学習**で攻略する。
 - ✎ 最低限広く浅く**各科目の頻出＆基本テーマ**をおさえ、なるべく**捨て科目を作らない**ことが大切。

『数的処理』とは？ ～教養択一試験の最重要科目～

数的推理：方程式、不等式、速度算、濃度算、整数、確率..etc
判断推理：論理、集合、暗号、嘘つき問題、順序・位置関係..etc
空間把握：立体の構成・切断などの図形の観念的な問題..etc
資料解釈：表やグラフなどの資料の読み取り問題

}

- ✓問題が解けるようになるまで時間がかかる
- ✓繰り返しの問題演習が大切

Point

- 実際に学習してみると・・・数的処理は半分取るのがやっとの合格者が多い。
- 数的処理と文章理解でなるべく点数を稼いで、足りない部分を一般知識分野の科目で補うイメージ。
- 社会科学は、専門試験対策の基礎の部分からの出題が多い ⇒ 独自の対策は必要ない。

□専門択一試験の科目別出題数一覧

試験種	法律系							経済系							政治系							その他										合計出題数(問)	合計解答数(問)	解答時間(分)	
	憲法	民法(物権・総則)	民法(債権・総則)	行政法	刑法	労働法	商法	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	経済事情	経済政策	経済史	労働経済	政治学	行政学	社会学	社会政策	国際関係	社会事情	労働保障	経営学	会計学	労働事情	英語基礎	英語一般	英語商業	情報工学	情報数学	統計学	心理学				教育学
国家一般職	5	5	5	5	—	—	—	5	5	3	2	—	—	—	5	5	5	—	5	—	—	5	—	—	5	5	—	—	—	—	5	5	80	40	180
国税専門官	3	6	—	3	—	—	2	2	2	6	2	—	—	—	3	—	2	—	—	1	—	6	8	—	—	6	6	6	6	—	—	—	70	40	140
財務専門官	6	5	8	—	—	—	1	3	3	6	2	—	—	—	3	—	3	—	—	—	—	6	6	—	—	6	—	6	6	6	—	—	76	40	140
労働基準監督官A	4	5	—	4	3	7	—	5	4	—	4	—	—	4	—	—	1	—	—	—	2	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	48	40	140
裁判所一般職	7	13	—	—	10	—	—	5	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	30	90
特別区Ⅰ類	5	10	—	5	—	—	—	5	5	5	—	—	—	—	5	5	5	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	55	40	90
東京都Ⅰ類B	【専門記述】憲法・行政法・民法・経済学・財政学・政治学・行政学・社会学・会計学・経営学から3科目選択解答																														10	3	120		
地方上級全国型	4	4	5	2	2	—	—	4	5	3	—	—	—	—	2	2	—	3	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	40	120
地方上級関東型	4	6	5	2	2	—	—	4	8	4	—	1	2	—	2	2	—	3	3	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	40	120
地方上級中北型	5	7	8	2	2	—	—	4	4	4	2	2	—	—	2	2	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	40	120

※ゴシックの数字は必須解答です。 ※上記は、過去の試験情報を元に作成しています。

Point

- 法律系・経済系・政治系の3分野を中心に、大学の専門課程レベルの問題が出題される。
- 科目ごとの学習範囲は非常に広く、さらに科目数も多いため、独学で合格レベルに達するのは難しい。
- 専門択一試験のボーダーラインは、概ね7割程度（配点比率は専門試験の方が教養試験よりも高い傾向）。

専門択一試験の攻略法

- 【重要科目】 出題数の多い**憲法・民法・行政法・ミクロ経済学・マクロ経済学・政治学**の学習が最優先。
- 大学の勉強と公務員試験の勉強は**別物**！法学部や経済学部だから有利ということはない。
- 各科目の**知識がゼロであることを前提とした予習不要のTACの講義**なら、学部問わず安心。
- 【選択科目】 行政学・経営学・社会学など、**試験種によって出題されたりされなかったりする科目**が選択科目。
- 重要科目以外は、志望先での出題の有無を確認して、**必要な科目だけを選択学習**すればOK。
- 選択科目の選択方法は、**ホームルーム(HR)で担任講師が詳しくレクチャー**。
- 【専門記述対策】 まずは各科目の**択一試験対策を完成させてから**、各科目の頻出テーマの記述対策をする。
- 試験種ごとに**出題傾向が異なる**ため、過去問の**傾向に合わせた対策**をする必要がある。
- 専門記述対策は、**講義&回数無制限の答案添削**で攻略！（必要な人だけやればOK）

Column 専門試験対策

Q. 本当に知識ゼロからで大丈夫ですか？

大丈夫！そりゃ予備校に聞いたらそう答えるでしょうと思うかもしれませんが、これまで理系学部・文学部・家政学部・芸術学部などの出身者が、TACで専門科目をゼロから始めて合格を勝ち取っています。必要なことはTAC講師陣が教えてくれますから、安心して身を委ねてください。本当に！？と思う人は、体験入学をおすすめします。

□論文試験（課題式）

社会・経済問題などの一般的な課題について、自分の考えを手書きで論述することが求められます。解答時間は概ね60～80分程度、文字数は800～1,200字程度で、与えられた課題に**的確に答え、自分なりの考えやアイデアも盛り込んだ**論理的な文章が書けるかが試されています。

出題例：平成27年度 特別区I類（事務） 論文2

人々の働き方に関する意識や環境が社会経済構造の変化に必ずしも適応しきれず、仕事と生活が両立しにくいという現実直面しています。誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て、介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等にかかる個人の時間を持てる健康で豊かな生活ができるよう仕事と生活の調和が求められています。このような現況を踏まえ、ワークライフバランスの実現に向け、特別区の職員としてどのように取り組むべきか、あなたの考えを論じなさい。



本科生特典！
「答案添削は何度でもOK！」

Point

- 出題テーマは、各種白書や統計資料を元にしたものや各自治体が抱える課題に対して、自分の考えを述べさせるものが多く、問題文の最後に「・・・あなたの考えを述べなさい。」と指示がある場合が多い。
- 文章の書き方や答案構成の組み立て方はもちろん、普段から新聞やニュースなどに興味を持ち、社会問題や時事に触れておくと、論文のネタ集めや面接対策にもなる。
- 論文の評価はA～Eの5段階。C評価以上が安定的に取れるようになれば、合格レベルと言える。

論文試験の攻略法

- 【①講義を受講】 ② まずは講義で、**予想テーマ・基本的な文章の書き方・ネタ集めの方法**などを学ぶ。
- 【②実際に書く】 ② 予想テーマについて、自分なりに**答案構成を練り論文を書いて答案添削を繰り返し受ける。**
- 【③改善する】 ② 何度も添削を受けて**改善**を図り、予想テーマごとの**自分なりの模範答案をストック**する。

Column 配点比率

Q. 教養・専門・論文…どれを最優先で勉強するべきですか？

判断材料は、試験案内等で公表されている『配点比率』です。

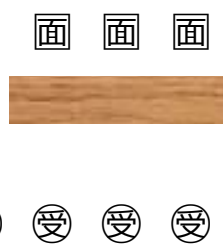
国家一般職（大卒）の配点比率を見ると、専門択一試験の配点は基礎能力試験（教養択一）の2倍であることがわかります。つまり、専門択一試験の得点効率は、基礎能力試験（教養択一）の2倍・・・当然、基礎能力試験（教養択一）よりも専門択一試験対策を優先するべきということになります。

一方で、地方公務員の場合は筆記試験：人物試験＝3：4になっていますから、面接に力を入れなきゃ！と思いがちですが、ちょっと待って！公務員試験は、第1次試験（筆記）合格者だけが第2次試験（人物）に進める・・・つまり、第1次試験（筆記）対策が最優先であるということになります。

国家一般職（大卒・行政）			
基礎能力	専門択一	論文	面接
2	4	1	2
筆記試験重視の傾向			

地方公務員（例：埼玉県）			
教養択一	専門択一	論文	面接
1	1	1	4
人物試験重視の傾向			

□第2次（人物）試験 ～過去の情報を元にした的を射た対策で攻略！～

㊦個別面接	㊦集団面接	㊦集団討論
		

Point

- 個別面接は、ほぼ全ての公務員試験の2次試験以降のどこかの段階で必ず実施される。
- 内容は『志望理由』と『自己PR』が問われる一般的な就職面接で、面接の倍率は民間よりも格段に低い。
- 人物試験重視の試験が増えているが、過去の情報に基づき“的を射た対策”をしておけば怖くない！
- 民間就活経験がある大学4年生・既卒者・社会人は、人物試験対策において就活経験を活かせる！

面接試験の攻略法

- 【①講義を受講】 講義で面接作法、面接カードの書き方、よくある質問への対応方法などを学ぶ。
- 【②情報収集】 面接復元シートで志望先の面接の質問事項・雰囲気・形式などの情報を入手し、想定問答を準備。
- 【③実践練習】 回数無制限の模擬面接や受講生同志の面接練習で場数を踏み、面接に慣れる。
- ➡模擬面接：復元シートを元にした質問事項での面接練習を繰り返し、徹底的に個別指導。
- ➡面接練習：同じ志望先の受講生同志で集まり、受験者役と面接官役を交互に担当して練習。

Column 受験対策予備校 vs 独学のチガイ

	受験対策予備校	独学
学 習 効 率	○頻出論点を中心に、過去の試験情報を基にしたカリキュラムで効率的に学習できる。 ○疑問点は講師に直接質問して、すぐに解決することができる。	▲教材の選定から学習計画まで、全て自分で管理して進めなければならない。 ▲疑問点は、問題の解説や参考書を見ながら自分で解決しなくてはならない。
情 報 力	○全国の公務員試験の情報が蓄積されており、それが見放題。 ○最新情報は担任講師が随時教えてくれるので、あとは自分なりに理解すればOK。	▲公務員試験に関する情報は、自分で探さなければならない。 ▲各科目を学習しながら、試験の最新情報を自分で探して得なければならない。
面 接 対 策	○面接復元シートなどで、質問事項・雰囲気・形式などの情報は事前に入手できる。 ○模擬面接で試験種ごとの傾向合わせた的を射た対策をすることができる。	▲各試験の面接情報が手に入らず、試験種ごとの的を射た対策ができない。 ▲実践練習の場が得られず、うまく話せるか不安な状態で本番に臨むことになる。

Point

- カーナビを見ながら合格を目指すのが受験対策予備校、地図帳を片手に合格を目指すのが独学。
- 今回の受験でどうしても合格したい！と考えるならば、受験対策予備校の利用がおすすめ。

➡より詳しい試験情報や科目ごとの学習方法は、オリエンテーションで！

3 TACの合格カリキュラム

□本科生（コース） *パンフレット P.66～

人気のスタンダードコース 総合本科生

- ◎筆記試験から面接試験対策まで必要な対策を全て含んだ追加料金なしのオールインワン。
- ◎主要な公務員試験(行政事務職)に幅広く対応できるカリキュラム＝併願受験が当たり前。
- ◎毎年、大卒レベルの公務員試験で多くの最終合格者＆上位合格者を輩出！
- ◎本科生なら、論文添削・模擬面接回数無制限！自習室も使い放題などの各種特典あり。

- 2年総合本科生 : 重要科目の2回転学習で、“より確実に”合格を目指せる大学2年生専用コース
- 教養型市役所本科生 : 専門試験が出題されない市役所(教養型)や国立大学法人等をターゲットにしたコース

□おすすめの受講メディア



『教室講座+Webフォロー』

教室講座を受講しながら、さらに復習・欠席フォローとしてWebでも講義を受講できる人気の受講スタイル。

PC・スマートフォン・タブレットに対応！

活用法①

今日は2限と4限で講義…3限の時間どうしよう
→大学のPCルームやスマホで講義を受講！

活用法②

ここ忘れちゃった…いまず講義を見たい！
→PC・スマートフォン・タブレットですぐにカクニンOK！

□生講義中心&受講校舎が自由に選べる *パンフレット P.50～

■クラス振替出席フォロー



「今日は大学の授業は休みだけど、TACの講義はあるんだよね…」
そんな時でもTACには『クラス振替出席フォロー』があるから大丈夫！
→関東首都圏は教室講座開講校舎が多数ある＝生講義中心の受講が可能！



■クラス重複出席フォロー

新宿校 4月入学(夜中心クラス)

日程	講義名
7(火) 夜	オリエンテーション
9(木) 夜	ミクロ経済学①
13(月) 夜	憲法①
16(木) 夜	ミクロ経済学②
20(月) 夜	憲法②
21(火) 夜	数的推理①

池袋校 8月入学

日程	講義名
8月 18(火) 夜	オリエンテーション
19(水) 夜	数的推理①
20(木) 昼	憲法①
21(金) 夜	ミクロ経済学①
24(月) 昼	憲法②
25(火) 夜	数的推理②

復習

復習

TACは、一度受講した講義でも、基本講義は日程上可能な限り、何度でも繰り返し教室講座をご受講いただけます。

活用法

久しぶりにこの科目の問題集を解いてみたらわからなくなっちゃった…
→もう一度同じ科目を受講して内容を思い出そう！

□欠席フォロー *パンフレット P.50

TACの校舎で欠席フォロー

■クラス振替出席フォロー（無料・手続不要）

登録校舎・クラスは、自由に振替えて出席できます！日程表冊子を見ながら自由に振替えてください。

■個別DVD振替フォロー

欠席した講義を、TAC校舎のDVDブースでご受講いただけます（有料 ￥500／1回 ※要事前予約）。

インターネットを活用して欠席フォロー

■Webフォロー PC・スマートフォン・タブレットに対応！

教室講座に加えて別途Webフォローを申込み、Web講義をいつでも・どこでも・何度でも受講できます。

■音声DLフォロー

講義音声と講義録（講義レジュメ&板書）だけで良ければ、本科生は無料でダウンロードできます。

□科目に関する質問 *パンフレット P.51

■質問コーナー

各科目の担当講師が講義前後はもちろん、講義以外の日にも『質問コーナー』を設け、受講生の質問に個別にお答えします。

→TACは、講義が終わったからその科目の質問不可なんてことはありません！

①各校舎の掲示板で日程を確認



②各科目担当講師の個別指導



□担任講師制度 ～頼れる公務員受験指導のプロがそばにいる！～ *パンフレット P.28～

■ホームルーム（HR）



最新の試験情報や時期に応じた学習方法などについての無料講義をご提供！

■担任カウンセリング



受験や進路に関する相談は、担任講師にお任せ！お気軽にご相談ください。

教室開講校舎毎に専任の担任講師がいる！

TACは、教室講座開講校舎全てに、専任の担任講師が在籍しているので、いつでも相談OK！
→不安なことがあれば、すぐに解消できる！

ベテラン講師だから安心！

TACの担任講師は、公務員受験指導に精通したベテラン講師ばかり！これまで多くの受験生を最終合格へと導いてきた実績のある頼れる存在です。
→的を射た回答で受講生を迷わせません！

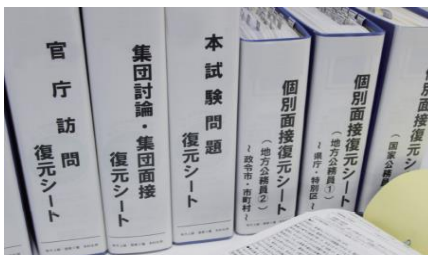
□面接対策 ～圧倒的な情報量&徹底的な個別指導で攻略！～ *パンフレット P.38～

■模擬面接 ★回数無制限★



TAC本科生は、回数無制限で模擬面接を実施！10回受けた強者も・・・

■面接情報復元シート



全国のTAC生から集めた面接復元シート見放題！情報量では負けません！

さらに面接対策ゼミなどを実施！

TACでは、面接対策の一環として受講生同士の面接練習ゼミの場を設けています。
→面接官側の視点も学び、さらにレベルアップ！

情報量には絶対の自信があります

どの予備校にも面接復元シートは存在しますが、ぜひその量を比べてみてください。大卒レベルの公務員試験の情報量で、TACが他に負けることはありません！
→情報戦で負けることはありません！

TAC W セミナー 公務員講座



あなたの志望先は
どの公務員試験ですか？

本気で公務員試験に最終合格したいなら、
志望先に合わせた学校選びが大切！

大卒レベルの公務員試験に 強い学校がココにあります！

2015年度公務員試験 公務員講座生(※1) 最終合格先一覧

国家公務員(大卒程度)

2,261名

国家総合職(大卒)	大卒レベル試験	179名
国家総合職(院卒・行政)	大卒レベル試験	19名
国家総合職(教養)	大卒レベル試験	19名
国家一般職(大卒)	大卒レベル試験	1,120名
国税専門官	大卒レベル試験	417名
財務専門官	大卒レベル試験	113名
労働基準監督官	大卒レベル試験	50名
外務専門職	大卒レベル試験	45名
法務省専門職(人間科学)	大卒レベル試験	2名
裁判所総合職(大卒)	大卒レベル試験	2名
裁判所一般職(大卒)	大卒レベル試験	230名
衆議院事務局総合職	大卒レベル試験	1名
衆議院事務局一般職(大卒)	大卒レベル試験	7名
参議院事務局総合職	大卒レベル試験	7名
国立国会図書館一般職(大卒)	大卒レベル試験	6名
防衛省専門職	大卒レベル試験	18名
自衛隊幹部候補生	大卒レベル試験	16名
航空管制官	大卒レベル試験	2名
皇宮護衛官	大卒レベル試験	6名
食品衛生監視員	大卒レベル試験	2名

地方公務員(大卒程度)

3,187名

特別区I類	大卒レベル試験	649名
東京都I類A	大卒レベル試験	25名
東京都I類B	大卒レベル試験	326名
道府県上級	大卒レベル試験	738名
政令指定都市上級	大卒レベル試験	558名
市町村上級	大卒レベル試験	534名
警視庁職員I類	大卒レベル試験	10名
警察官(大卒)	大卒レベル試験	255名
消防官(大卒)	大卒レベル試験	92名
国立大学法人等	大卒レベル試験	48名
独立行政法人	大卒レベル試験	12名
その他公務員		51名

公務員講座生(※1)
最終合格者延べ人数(※2)

5,559名

※1 公務員講座生とは当社の公務員試験対策講座において、目標年度に合格するために必要と考えられる、講義、答案練習、論文対策、面接対策等をパッケージ化したカリキュラムの受講生(本科生・コース生)です。単科講座や公開模試のみの受講生は含まれておりません。
※2 同一の方が複数の試験種に合格している場合は、それぞれの試験種に最終合格者としてカウントしています。(実合格者数は3,412名です。)
* 2016年1月28日時点で、講座にご協力いただいた方的人数です。



さらに！TAC生は全国の公務員試験(大卒レベル)に上位で合格！

特別区I類(事務)	兵庫県(一般事務職)	三重県(行政I)
岩手県(一般行政A)	香川県(一般行政事務)	名古屋市(法律)
国家総合職(政治・国際)	国家一般職(大卒/行政東北)	国家一般職(大卒/行政近畿)
労働基準監督官A	裁判所一般職(大卒/東京高裁)	裁判所一般職(大卒/福岡高裁)

全国のTAC校舎で無料ガイダンス・無料体験入学実施中！最新情報は

TAC 公務員 で 検索

TAC生は、全国の試験に好成績で合格！

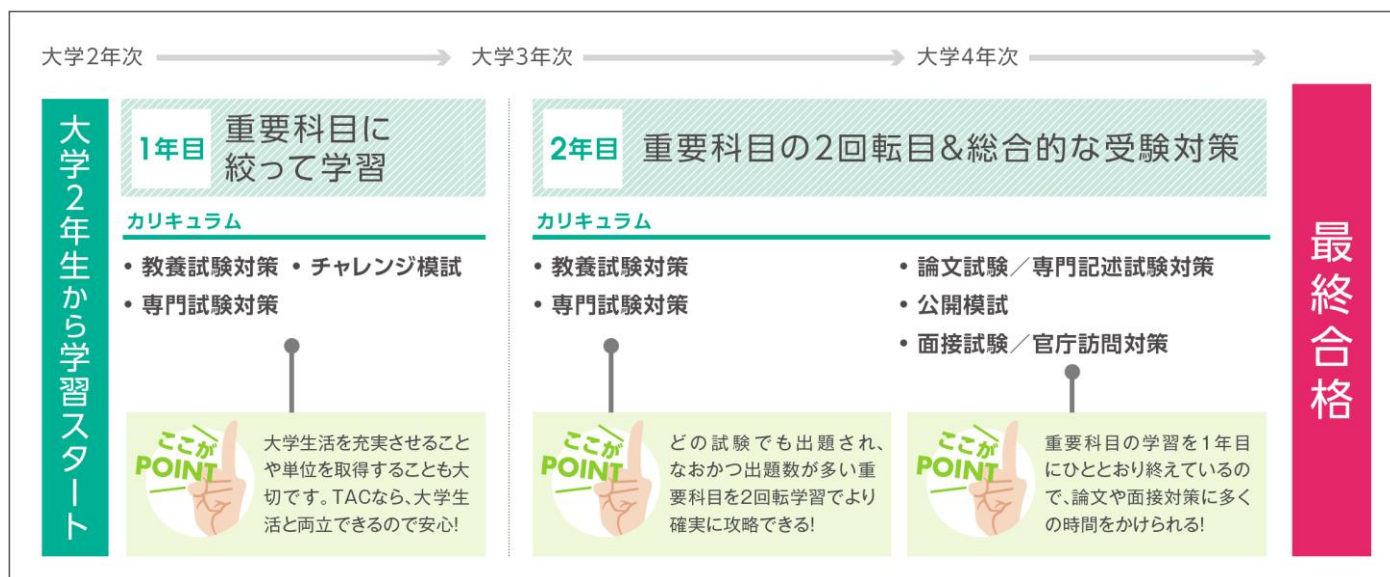
	特別区I類 事務 (申込者数12,534名) 1位合格 松原 侑美さん	兵庫県 一般事務職 (申込者数981名) 1位合格 西尾 将太朗さん	三重県 行政I (申込者数479名) 1位合格 大森 一毅さん	岩手県 一般行政A (申込者数340名) 1位合格 浪岡 愛彩さん
	名古屋市 法律 (申込者数434名) 1位合格 千村 舞衣さん	香川県 一般行政事務 (申込者数374名) 1位合格 A.Kさん	国家総合職 政治・国際 (申込者数1,638名) 1位合格 太田 光喜さん	国家一般職 (大卒) 行政 東北地域 (申込者数1,908名) 1位合格 浪岡 愛彩さん
	国家一般職 (大卒) 行政 近畿地域 (申込者数4,202名) 1位合格 上野 翔平さん	労働基準監督官A 法文系 (申込者数3,148名) 1位合格 井上 志織さん	裁判所一般職 (大卒) 東京高裁管轄 (申込者数6,255名) 1位合格 末岡 奈緒子さん	裁判所一般職 (大卒) 福岡高裁管轄 (申込者数2,186名) 1位合格 松尾 拓郎さん

	東京都I類B 行政【一般方式(申込者数5,383名)】 2位合格 寺坂 圭史さん	神奈川県 行政I【申込者数1,824名】 2位合格 松下 雄大さん		特別区I類 事務【申込者数12,534名】 3位合格 新名 日菜子さん	横浜市 事務【申込者数3,252名】 3位合格 森本 彩奈さん
秋田県 行政【申込者数409名】 2位合格 伊藤 卓也さん	愛知県 行政I【申込者数1,309名】 2位合格 柄澤 良輔さん	名古屋市 経済【申込者数264名】 2位合格 土屋 美沙輝さん	北海道 行政A第1団【申込者数1,703名】 3位合格 長沢 実可子さん	神奈川県 行政I【申込者数1,824名】 3位合格 丸山 佳那子さん	国家一般職(大卒) 行政 東海北陸【申込者数3,090名】 3位合格 佐野 由佳さん
国家一般職(大卒) 行政 関東甲信越【申込者数12,548名】 2位合格 松原 侑美さん	国家一般職(大卒) 行政 東海北陸【申込者数3,090名】 2位合格 竹内 謙史さん	裁判所一般職(大卒) 名古屋高裁管轄【申込者数1,568名】 2位合格 中村 哲也さん	財務専門官 【申込者数3,844名】 3位合格 高尾 元喜さん	裁判所総合職 東京高裁管轄【申込者数397名】 3位合格 牧野 彩音さん	裁判所一般職(大卒) 高松高裁管轄【申込者数277名】 3位合格 田村 優衣さん

次はあなたが、**TAC**を利用して、
公務員試験に合格する番です。

早めの学習STARTで
公務員受験対策と大学生活を両立！
そして、より確実に合格レベルへ

大学2年生編



POINT① 大学生活と公務員受験対策を両立しやすい！

大学2年生は、大学の単位・ゼミ・サークル・アルバイトなど、大学生活を充実させることも大切です。TACの大学2年生コースの1年目のカリキュラムは、憲法・経済学・数的処理などの合否を左右する重要科目のみに絞っていますので、全ての対策を1年間でこなす1年コースよりも、学習スケジュールに余裕があります。大学の勉強・サークル活動・アルバイトなど、何かしら両立したいものがある方は、大学2年生コースがおすすめです。ゆとりのスケジュールで、“より確実に”合格を目指してください。

→他にやるべきことはありますか？

大学生の本分を忘れてはなりません！
大学2年生の場合、大学の単位取得や大学生活を充実させることも大切です。中にはもっと公務員受験対策をやりたいという方もいらっしゃるかもしれませんが、TACのカリキュラムだけで大丈夫です。

POINT② より幅広く併願受験ができる

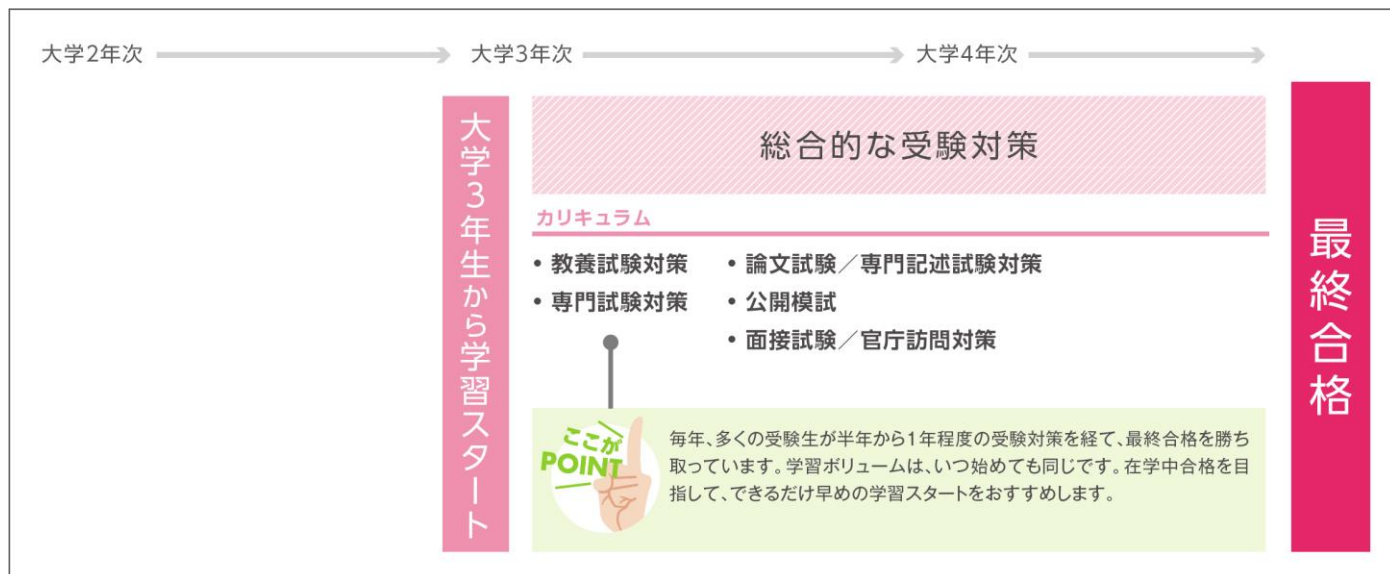
TACの大学2年生コースは、1年目に最重要科目の学習をひととおり終えていますので、2年目に学習する選択講義・応用講義対策に、1年コースよりも多くの時間を費やすことができます。1年コースの場合は、第一志望で出題される科目を中心に、出題数や出題傾向を見ながら、ある程度絞り込んで学習します。一方で大学2年生コースの場合は、時間に余裕があることから、2年目の学習時により多くの科目の対策をすることが可能です。すなわち、1年コースよりも“より幅広く”併願受験できる環境が手に入り、万が一のリスクが回避しやすくなる点も、大学2年生コースのメリットの1つです。

→2年目に詳しく解説します！

大学2年生コースの1年目に含まれていない選択講義と応用講義の選択方法や学習方法については、2年目に最新の試験情報を元にしながらHRでお伝えします。
今は、1年目に学習する最重要科目の学習に全力を注いでください。今頑張っておくと、あとあと楽になりますよ。

ムダのない学習で在学中合格！
目指せ公務員！標準学習プラン

大学3年生編



POINT① 志望先に合わせた“予備校選び”が大切です

あなたの志望先は、どの公務員試験ですか？

本気で公務員試験に最終合格したいなら、ご自身の志望先に合わせた学校選びが大切です。筆記試験に合格し、人物試験を突破してはじめて最終合格、そして採用・内定が得られるのが、公務員試験です。したがって、自分の志望先に最終合格するためのノウハウが蓄積されており、筆記試験と人物試験の総合的な受験対策が受けられる予備校を選ぶ必要があります。大卒レベルの公務員試験なら、迷うこと無くTACです！

→予備校選択をする際におすすめ

- ☺ 体験入学をして、講義の質・教材・学校の雰囲気をお自分の目で確かめる
- ☺ 合格実績（特に最終合格者数）と比較して、自分の志望先に最も多くの人数を最終合格させている学校を選ぶ
- ☺ 先輩や同級生などに評判を聞いてみる

POINT② “併願受験”で万が一のリスクを回避する！

公務員試験は、どの試験種も出題科目が似通っているため、TACの総合本科生などのオールインワンコースで学習すれば、幅広く複数の公務員試験に対応することができます。実際にTACの合格者の多くは、3～5つ程度の公務員試験を併願受験し、見事に複数の公務員試験に最終合格しています。

第一志望を単願で目指そう！という予備校もあるようですが…公務員試験は、就職試験です。万が一のリスクを考えるとどうでしょうか。TACは併願受験をすることを前提とした受験計画を推奨します。チャンスがあるならば、それをフル活用するべきです。

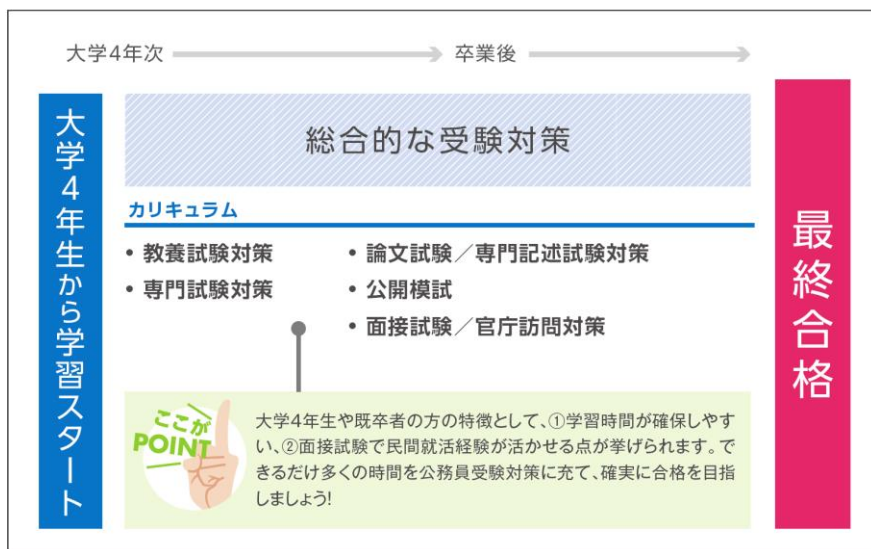
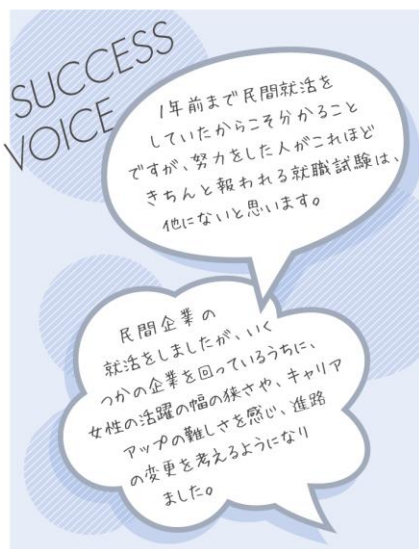
→よくある併願受験例

～平成28年度の併願受験例～

- 5月29日(日) 国税専門官
- 6月5日(日) 特別区I類
- 6月12日(日) 国家一般職(大卒)
- 6月26日(日) 地方上級
- 7月24日(日) 市役所B日程
- 8月21日(日) 国立大学法人等

民間就活からの進路変更OK
公務員試験は公平な就職試験
卒業後の受験は不利じゃない！

大学4年生編



POINT① 公務員試験＝公平公正な就職試験

大学の新卒者が有利だと思われがちな公務員試験ですが、TACの合格者の中には、大学4年生から学習をスタートし、卒業後に受験、そして最終合格を勝ち取っている方が多数いらっしゃいます。公務員試験には、学歴・職歴・性別による有利不利はありません。筆記試験と人物試験の結果が点数化され、その点数によって合格が決定される“公平公正な就職試験”です。つまり、卒業後の受験だから不利ということはありません！コツコツと努力を積み重ねることで、誰でも合格を目指すことが可能です。

→公務員試験の受験資格

- ☉ 一部の試験を除き、概ね年齢要件と日本国籍であることのみ
- ☉ 年齢要件は意外と広く、概ね21～30歳程度
- ☉ 受験資格を満たせば有利不利はなく、合計点数のみで平等に合格が決まる

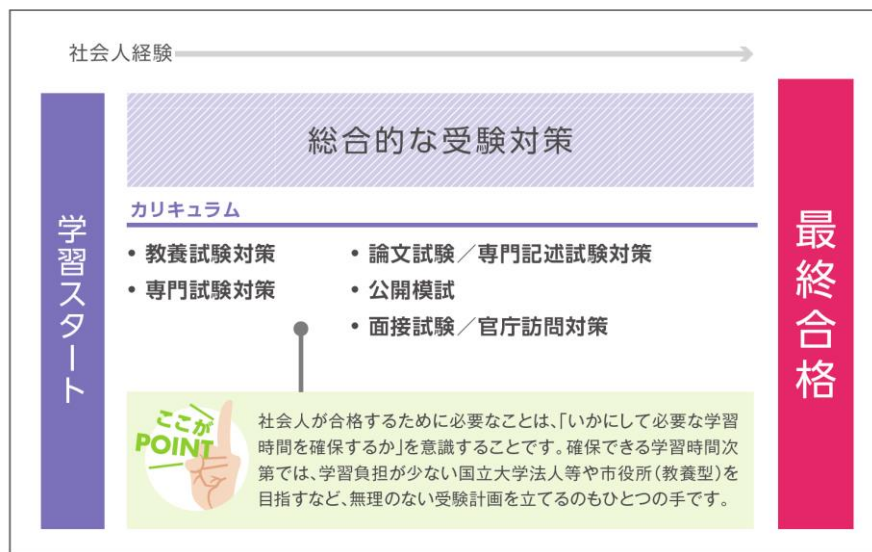
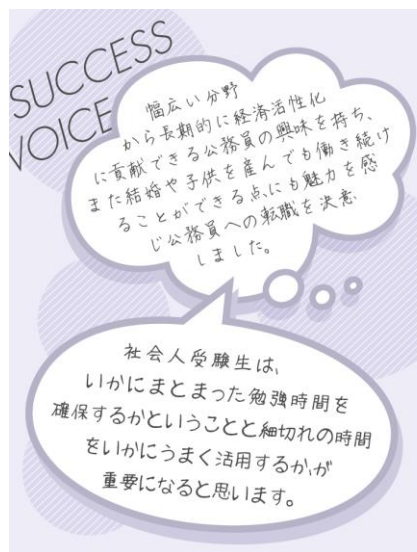
POINT② 学習時間が確保しやすい & 民間就活経験が活かせる

【筆記試験対策】 大学4年生の方は、既に卒業に必要な単位も取り終え、大学生活と平行して公務員受験対策を行う3年生に比べ、学習時間が確保しやすい環境にあります。公務員試験は決して難しい試験ではありませんが、学習時間をどれだけ確保するかが重要です。できるだけ多くの時間を公務員受験対策に充てて、合格を目指しましょう。

【人物試験対策】 民間就活経験がある方は、既に自己分析などの面接準備の経験がありますので、あとは公務員試験の傾向に合わせた対策をすれば対応できます。また、過去のTAC生が残してくれた面接復元シートで質問事項や面接の様子を知り、回数無制限の模擬面接で実践を積み、的を射た万全の対策を講じたうえで本番へ臨めます。

社会人からの NEXT STAGE 民間企業から公務員に転職！ 公務員になる2つの方法

社会人編



POINT① 一般枠の大卒程度試験 ～倍率が低く、社会人経験が武器になる～

一般枠の大卒程度試験は、大学の新卒者だけでなく、受験資格である年齢要件を満たせば既卒者や社会人の方も対象とした試験ですので、既卒者・社会人も受験可能ですし、TACで勉強して見事に公務員への転職をされる方は数多く存在しています。公務員試験は、学歴・性別・職歴による有利不利はなく、筆記試験と人物試験の結果が点数化され、その合計点により合否が決まる“公平公正な就職試験”です。また、面接において新卒者にはない社会人経験を武器にすることができる点は、大きな強みです。

→合格するためのPoint

- ☺ 学習時間をどう確保するかが、合否を決める最大のカギとなる。
- ☺ 通勤時間や昼休みなど、細切れ時間を有効活用して、学習時間を確保！
- ☺ ある程度受験先を絞り込み、効率的に学習すれば、合格が見えてくる。

POINT② 民間経験者採用試験 ～学習ボリュームは少ないが倍率は高め～

民間企業などで一定の社会人経験がある方を対象とし、新卒者にはない専門知識・技能を備えた即戦力となれる人材を求めて実施される試験です。筆記試験は教養択一試験と論文試験のみと、一般枠の大卒程度試験よりも学習負担が少なく、比較的短時間での受験対策ができることから、近年人気が高まっています。

ただし、民間経験者採用試験は全ての自治体が毎年実施するわけではなく、また募集人数が一般枠の大卒程度試験に比べて多くはありません。受験される際は、複数の志望先候補を設けておき、こまめに最新の試験情報をチェックしておいてください。

→受験資格を要チェック

- ☺ 年齢要件に加え、“社会人経験〇年以上”などの要件が設けられていることが多い(概ね4～5年程度)。
- ☺ 教養試験は一般枠の大卒程度試験と同じだが、論文のテーマは経験者採用試験独自の経験者論文が課されることが多く、独自の対策が必要。

Column 合格できる人

Q. 合格できる人とできない人、チガイは何ですか？

本当にあたりまえのことですが、『必要な対策を、本番までに全てやりきったか、やりきっていないか』だけです。公務員試験は決して難しい試験ではありませんが、教養試験・専門試験・論文試験・面接試験対策と、本番までにこなすべきボリュームが多い点が特徴として挙げられます。

限られた時間の中で合格レベルを目指すためには、学習の順番・メリハリ付けを意識しながら、計画的に必要な対策をする必要があります。これらを確実にこなすことができた人、それが公務員試験の合格者です。



Q. 合格するためには、どうしたら良いですか？

これもあたりまえのことですが、“TACをフル活用する”ことです。

TACの本科生カリキュラムには、合格するために必要な対策がひととおり含まれています。また、受講生が合格するために必要なツールも全て揃っていますから、あとはそれらを正しく使いこなしながら、コツコツと努力を積み重ねてくればOKです。何か困ったことがあれば、担任講師がHRやカウンセリングを通じて、解決してくれます。この環境があれば、今何をすべきかを自ら考える必要はありません。与えられたものをフル活用するだけで大丈夫です。これまで、多くの受験生がTACをフル活用して合格を勝ち取ったように、今度はあなたがTACをフル活用して合格してください。



➡できるだけ早く学習を START しよう！

講義の復習や問題演習の時間が確保しやすい！

公務員試験本番はどの受験生にもあまねく平等にやってきます。一方で、合格レベルに達するためにやるべきことはいつ学習 START しても同じ・・・つまり、学習 START が早ければ早いほど、講義と講義のインターバルが長く、時間をかけて各回の講義内容を復習することができ、問題演習の時間も十分に確保でき、確実に合格への道を一步一步歩いていくことができます。

幅広く併願受験しやすくなる

試験は水物と言われますが、本当にそのとおり。したがって、多くの受験生が万が一のリスクを回避するために併願受験をします。幅広く併願受験するためには、専門科目をなるべく多く学習する必要があります。早めに学習 START することで、重要科目の学習時間を確保しやすくなり、自分の選択肢を広げることができ、最終的には自分を救ってくれます。

思い立った
その日が吉日！



地方上級・国家一般職講座

3回連続無料体験入学で TACをじっくり体感!

大学生・既卒者・社会人
公務員に興味がある方なら
どなたでも参加OK!

【予約不要】【参加無料】

1 ご都合の良い校舎・日時を選択

パンフレットP93～94の体験入学日程表で確認のし、都合の良い校舎・日時を選択してください。

- ☺ 体験入学1回目のオリエンテーションからの参加をおすすめしますが、2回目・3回目の科目の講義からご参加いただくことも可能です。
- ☺ 体験入学はお申込み予定の校舎に限らず、好きな校舎・日時で参加OKです。また、講義ごとに別の校舎での受講も可能です（体験入学1回目は新宿校、2回目は水道橋校など）。



2 オリエンテーションを受講(体験①回目)

講義の開始時間に合わせてTAC校舎にお越しいただき、掲示のご案内に従い、直接オリエンテーション実施教室にお越しください。

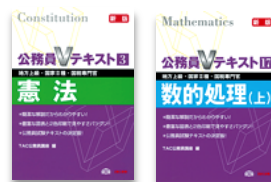
- ☺ オリエンテーションは、各校舎の担任講師が担当します。また、講義時間は90～120分程度で、これから本試験までの『正しい学習法』についてお話しします。
- ☺ オリエンテーション終了後は、講師・スタッフによる相談会を実施します。受験に関すること、試験制度について、申込方法など、何でもお気軽にご相談ください。
- ☺ ご参加の際は、筆記用具をお持ちください。



3 科目の講義を受講(体験②・③回目)

各科目の講義を無料でご受講いただけます。講義・教材の質、校舎の雰囲気などを体感して、じっくりとTACのコンテンツを確かめてください。

- ☺ 講義前に教材を配付しますので、お時間に余裕をもってお越しください。
- ☺ オリエンテーションを受講した校舎のみならず、他の校舎の体験入学日程に参加していただくことも可能です。
- ☺ ご参加の際は、筆記用具をお持ちください。



参加者全員に Present!

➡体験入学終了後、4回目の講義前までにお申込手続きを完了していただければ、引き続き講義日程通りにご受講いただけます。